

# 会 長 指 針

山 科 隆 雄  
(電 気 工 事)

歴史と伝統ある京都東ロータリークラブの会長を拝命し、その責任の重大さをかみしめています。会員各位のご指導ご鞭撻、そしてご協力とご参画を心からお願い申し上げます。

クラブ年間テーマ「行いて学び 学びては行こう」

「限りなき道ロータリー」 平澤興作詞

奉仕の理想胸にひめ 友情花と咲かせつつ

生きよう今日もニコニコと ひとすじの道 ロータリー

限りなき道 ロータリー

心をあわせ手をつなぎ 平和と幸をいのりつつ

生きよう今日もニコニコと ひとすじの道 ロータリー

限りなき道 ロータリー

当クラブの第9代会長であり、パストガバナーの平澤興先生が創立10周年に作詞された「限りなき道ロータリー」です。私は京都東ロータリークラブの会員が愛唱するこの詞の中にロータリーの精神が凝縮されていると考えています。

2012～2013年度 RI 会長を務められる田中作治氏のテーマは「奉仕を通じて平和を」“Peace through Service”です。このテーマは正に「限りなき道ロータリー」そのものです。

私は「限りなき道ロータリー」の精神、田中 RI 会長のテーマを受け、当クラブの年度テーマを

「行いて学び 学びては行こう」“Learning by doing”

と定め、皆様とともに活動してゆきたいと考えます。

当クラブには素晴らしい会員がおられ、優れた奉仕の実践が有ります。学び合い、実践しあって来た奉仕と友愛の歴史が有ります。一方、他のクラブ、他の団体にもまた優れた

活動が数多く有ります。東クラブの歴史と伝統そしてその個性を大事にしつつ、広く目を向けて学ぶ“look wide”の心も大切にしたいと思います。

「体で覚えたことは忘れない（詩人サトーハチロー）」ことに気付かされる一方、私の乏しい経験から申し上げるのですが、人から学び、書物から学んでも、そこに実践を伴わないときはそれは学んだだけで、身についたことにはなりません。「行いて学ぶ」ことは多いのですが、「学びて行う」ことはなかなか難しいものだと感じています。

ロータリーで学んだことを、クラブだけでなく、職業（場）で、社会で、家庭で実践しましょう。

行いと学び、学びと行いの好循環は、私達自身を、京都東クラブを、そしてこの運動を成長、発展させてくれることと信じます。

結びに、村山元会長が例会の卓話で紹介され、私が大切にさせて頂いている言葉を記させていただきます。

“Smile !, it costs nothing but creates much!”

この一年、手を携え、楽しく学び行動してまいりましょう。

そしてその実践を通じて、今まで以上に笑顔のあふれる京都東ロータリークラブを作って参りましょう。全ての会員のご協力とご参画を心よりお願いいたします。

**理事、正副役員、委員長、委員会 皆で考え実行したい事、気を配りたいこと**

ここでは私は考えるポイントや、構想の一端を示すにとどめます。理事、役員、正副委員長、委員の皆さんの個性や考え方、そしてアイデアを大切にし、みんなで考え、みんなで決し、みんなで実行してまいりたいと思います。

ここに示させて頂いていることは、河本ガバナーが提唱されている地区スローガン“Bridge the Gaps”（隔たりをなくそう）の実践でもあります。

#### 1) 会員全員が主役だということ

出来るだけ多くの人に奉仕いただく機会を（理事、役員、委員長…）

出来るだけ多くの人に出番を（奉仕、卓話、会報…）

役割、出番を頂いて初めて学ぶことができます、楽しさを知ります

- 2) 家族の理解と応援がなければロータリーは成り立たないこと  
家族の参加する機会を少しでも多く（例会、フォーラム、懇親会、奉仕活動、会報、ホームページ、同好会…）  
奥様の誕生日のお祝いを例会に来て頂くことにしては？（お食事はご招待、お花のプレゼント等）
- 3) 笑顔あふれる魅力ある例会  
テンポ、歯切れ良く進行、ゆっくり食事と会話、魅力いっぱいの卓話（ベテラン会員の登場機会も考慮）
- 4) 継続性のある奉仕活動  
ミャンマーへの車いす寄贈  
吉田山さくら植樹  
美術館へのロビーチェアー（+αを考える）  
留学生（カウンセラーは幅広く人選）支援、地域青少年団体の育成  
※継続性のある奉仕活動はテーマ「行いて学び 学びては行こう」とつながる
- 5) 東クラブらしい、東クラブにしか出来ない奉仕活動  
（例）「公開文化塾」の再開  
その場合、上記「継続性ある奉仕活動」もプログラムに取り込めぬか？  
（例）「子供版公開文化塾」は？
- 6) ファイアーサイドミーティングの継続開催  
老壮青各世代の一層の融和を図る  
研修テーマの一つを「平澤興先生」にしては？  
平澤先生を知る会員（多くはベテランがた）の出番
- 7) アssenブリー、フォーラム、諸活動への出席率の向上
- 8) ローターアクトクラブ提唱の継続の可否にそろそろ決断を

## 9) 会員の増強

前出の楽しいクラブへの取り組みを通じ、100名を維持し、105名を目指す。

## 10) その他検討すべき課題

- ① 台南クラブ60周年式典への対応  
オンツー委員会或は姉妹クラブ委員会の設置
- ② ワインコンサートの開催
- ③ 同好会活動の推奨（「Rほろにが会」の担当を含め）

## 委員会活動におけるその他の留意点（お願い）

1) 委員長が一人で考え、一人で実行されるのではなく全委員を巻き込んで下さい。出来るだけ委員会を開いて下さい。懇親会もまた普段あまり接点のなかった会員同士を結ぶ機会となるでしょう。会長、副会長、幹事も可能な限り喜んで出席させていただきます。

入会間もなく、或は数年間のなかで、委員会活動の楽しさからロータリーを理解し、ロータリーを好きになられる方を何人も知っています。また残念ながら、その逆も大勢おられます。RI、地区は各クラブに研修リーダーの任命、配置を求めています、私はむしろ全委員長さんにその役割を期待しています。

2) 関連する委員会間のコラボレーションは大歓迎です。

例えば、職業奉仕委員会における公開文化塾と社会奉仕委員会の吉田山さくら植樹活動、環境保全委員会の活動、国際奉仕部門各委員会、新世代奉仕委員会の活動などとは接点が多いと思われます。またそれらの活動をクラブ奉仕部門がバックアップして頂ける要素が多くあると思います。

CLP（クラブリーダーシッププラン）の逆の発想になりますが、各委員会の主体性を尊重し、CLPの良さも取り入れてはと思います。当クラブはそれが可能な規模、メンバー構成だと思っています。

3) RI、地区との関係においては、河本ガバナーの方針に共感し、何事も無理なく自然体で取り組みたいと思います。しかし協力すべき点はクラブを挙げて努力したいと思います。

4) 優れた活動の記録はクラブの宝です。各委員会はやりっぱなしでなく、活動の記録をお願いします。広報委員会、会報委員会、雑誌委員会、図書・記録委員会との連携を図って下さい。

委員長さんの個性を思う存分発揮頂き、副委員長さん、委員さんとともに楽しい充実した1年になさってください。

どうかよろしく願いいたします。